

2050年脱炭素社会の実現に向けて 私たちができること

～コロナ禍からのグリーンリカバリー～
@神奈川県 / I G E S 協働セミナー

20210204

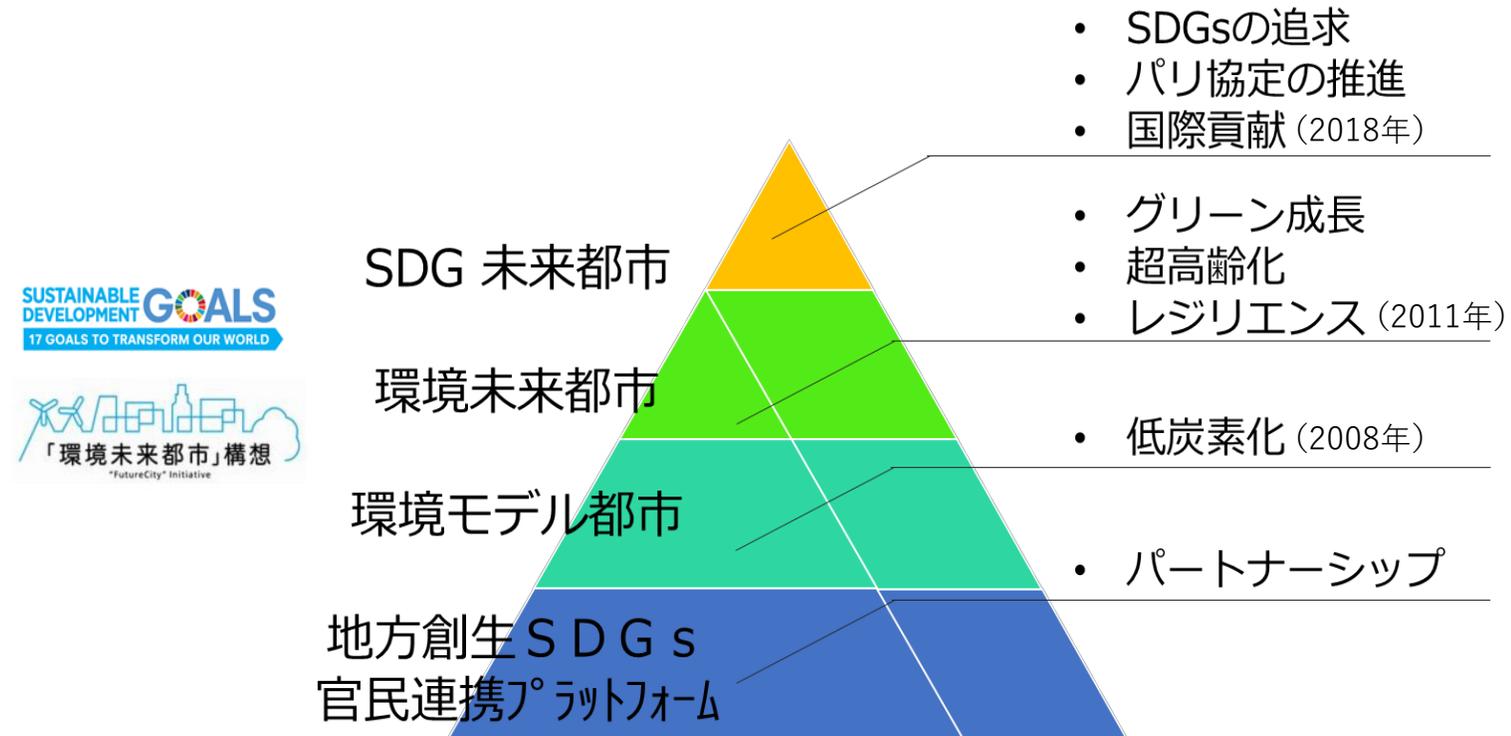
(株) エックス都市研究所理事

ヨコハマSDGsデザインセンターセンター長

信時正人

環境モデル都市・環境未来都市からSDGs未来都市へ

- 国は地方公共団体によるSDGsの達成に向けた取り組みを公募し、2018年6月、全国29の都市・地域が選定された。（2010年次世代エネルギー・社会システム実証地域の選定（METI））



これまでの SDGs未来都市への“準備”

・・・学び経験し実施してきたストーリー、そしてこれから・・・

▷環境モデル都市

⇒ 己を知ること、21世紀型環境施策へのアプローチ、
庁内横連携、自治体連携etc.

▷次世代エネルギー・社会システム事業

⇒ 企業との連携、市民との連携、異質の主体とのプロジェクト推進経験etc.

▷環境未来都市

⇒ 環境・経済・社会（トリプルボトム）の追求、自然インフラ、人工的インフラ（エネルギー、上下水道、廃棄物処理、医療福祉等）の課題認識と課題解決、都市マネジメントetc.

⇒横浜市は、これまでの上記の“準備運動”の上でSDGs未来都市となった

17の目標値を目指して横浜市なりの”ストーリー”を作っていける状況にある

SDGsデザインセンターはストーリーを作っていくときのハブにもなるが、仲介役であり、触媒でいたい。

SDGs未来都市・横浜の実現を目指し、自らもステークホルダーとして、連携によって課題解決に取り組む、目的志向・実践型の中間支援組織（公・民・学・市民）

市民 事業者 金融機関 教育機関 地域活動団体

多様なステークホルダーのニーズ・シーズ



3側面の統合的解決を図る“横浜型大都市モデル”創出

SDGs未来都市・横浜 環境を軸に、経済や文化芸術による新たな価値・賑わいを創出し続ける都市

SDGs達成への貢献

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



我々の世界を変革する： 持続可能な開発のための2030アジェンダの構造

【前文】「人間、地球及び繁栄のための行動計画」という書き出し

【宣言】世界が直面する危機や機会、アジェンダの特徴を説明

【持続可能な開発目標（SDGsとターゲット）】

17のゴールと169のターゲット一覧

【実施手段とグローバル・パートナーシップ】

【フォローアップとレビュー】

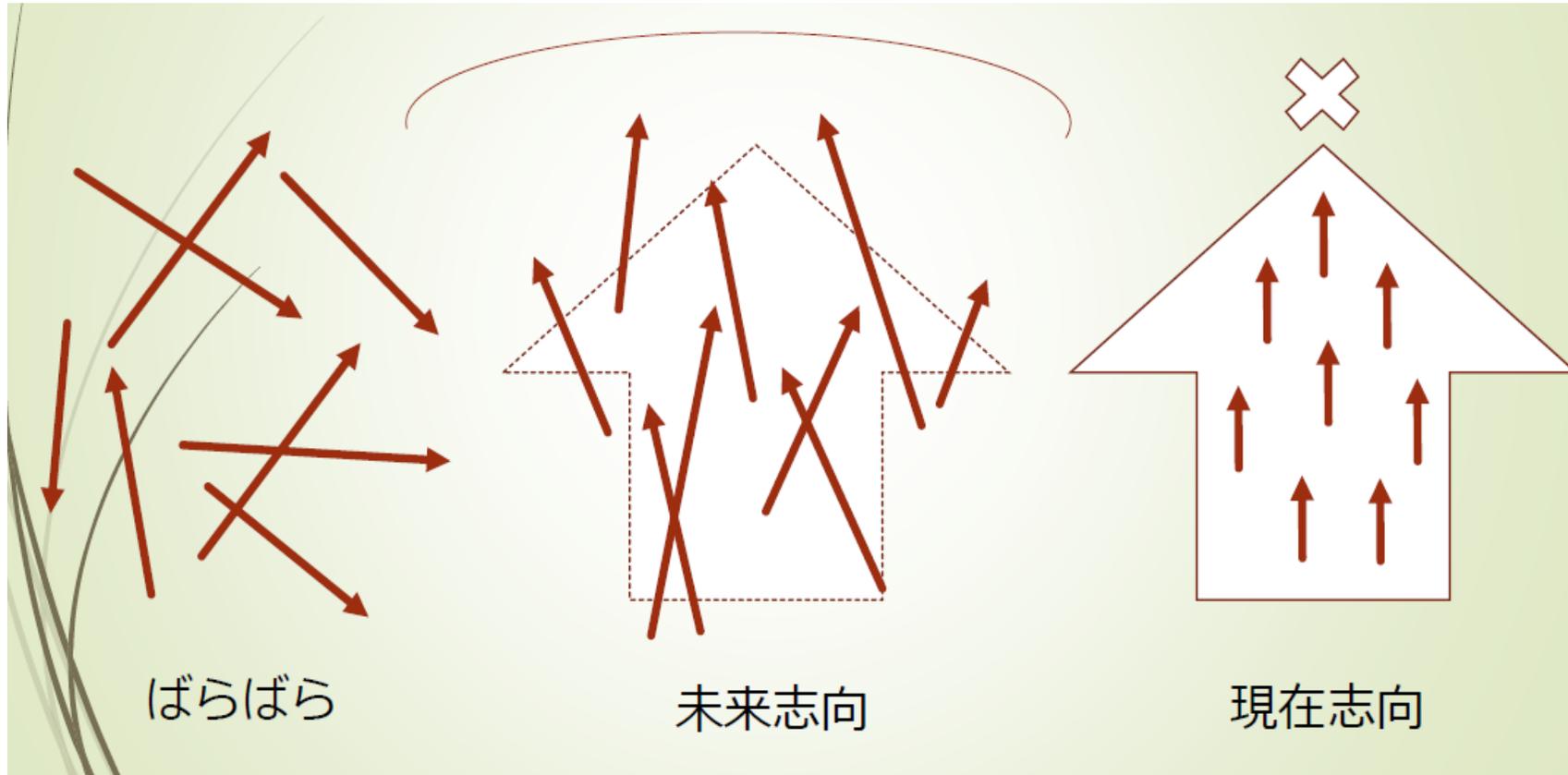
⇒SDGsは「大胆な変革」が必要と訴えている

アジェンダの冒頭に“transforming our world”(我々の世界を変革する)

既存の延長線上には未来はない、大胆に変えていかねばならない、という
宣言である

幼虫⇒さなぎ⇒成虫、のような大変化（変態）を。今はサナギか？！！

自律・分散・協調(公・民(市民)・学)



それぞれの特徴を活かし合い、その上で大きな方向性の一致の元進めていくこと
オーケストラの如く……楽譜=SDGs